令和　2　年度 事後評価・決算　**施策評価シート**　令和3年11月　作成

施策番号	334	施策名	生涯スポーツの推進	主管課名	生涯学習課
総合計画体系	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	令和　2　年度課長名	黒瀬　豊
	関係課名			シート作成者	岩谷　理恵子

1. 施策の対象と意図の指標

①施策の対象（誰、何が対象か）		③対象指標（対象の数・規模）	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込値			**12,143**	11,970	11,800
				実績値	12,926	12,754	**12,625**		
イ	→	イ		見込値					
				実績値					
ウ	→	ウ		見込値					
				実績値					

②施策の意図（対象をどうしたいのか）		④成果指標（意図の達成度）	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう	→	ア 何らかの運動、ｽﾎﾟｰﾂを行っている町民の割合	%	目標値	55.0	58.0	**60.0**	54.0	55.0
				実績値	45.5	56.1	**60.3**		
				達成率	82.7%	96.7%	100.5%	111.7%	109.6%
イ	→	イ 週一回以上運動・ｽﾎﾟｰﾂをしている町民の割合	%	目標値	42.0	45.0	**50.0**	46.4	48.2
				実績値	26.7	42.9	**47.0**		
				達成率	63.6%	95.3%	94.0%	101.3%	97.5%
ウ	→	ウ		目標値					
				実績値					
				達成率					
エ	→	エ		目標値					
				実績値					
				達成率					

⑤成果指標設定の考え方	日頃からスポーツに取組んでもらうことが意図であるため、日頃からスポーツに取組んでいる町民数と割合を指標として設定する。	⑥成果指標の把握方法と算定式等	町民アンケート（対象者1,000人中481人が回答）

2. 施策の役割分担

施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担	①住民の役割 （自助・共助・協働でやるべきこと）	②行政の役割 （町・都道府県・国がやるべきこと）
	体力維持・向上を図り、健康を維持することは自己で取組むべき事柄であり、色々なスポーツに親しむことにより得られる活力が各家庭を単位とする地域活性化の基盤となること。自己の心身の健康維持が直接地域社会への貢献になることを理解していただくことが必要である。	町は指定管理者や業務受託者と連携する中で各スポーツ施設を良好に管理し、町民がスポーツに接しやすい環境づくりを行う。各団体に情報提供を行い、町民主体のスポーツコミュニティ形成を促す。町民の心身の健康づくりに向けて関係課との連携・協働した事業の構築を検討していくことが必要である。

3. 評価結果

2　年度の評価結果

1. 施策の成果水準とその背景・要因

①成果指標の時系列比較（成果は向上したか？低下したか？要因は？）

町民アンケートでは「日頃から何らかのスポーツを行っている町民の割合」、「週一回以上運動・スポーツをしている町民の割合」はコロナ禍で外出制限される中でも増加しており、コロナ禍で日常生活に変化が生じたことで自己の健康に関心を持ち、意識的に体を動かす町民が増加していると考えられる。

☑ 向上した
☐ ほとんど変わらない
☐ 低下した

②他団体との比較（近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は？）

岡山県スポーツ推進計画によると週1回以上運動・スポーツをしている方の割合が平成28年度は49．1%（中間報告）であった。また、津山市スポーツ推進計画では平成29年度が30%であった。本町は令和2年度で47%でありこれと比較すると高い水準にあると考える。スポーツ庁の令和2年度世論調査では59．9%であり、国の平均と比較すると低い値ではあるが国と比べ70歳以上の方の増加割合が高く、町内では活動的な高齢者が多い。

☐ 高い水準
☑ ほぼ同水準
☐ 低い水準

③住民の期待水準との比較（住民の期待よりも高い水準か、低い水準か、どんな意見や要望が寄せられているか？）

新型コロナウィルス感染症の影響で年度当初の活動は自粛せざるを得なかったが、スポーツ少年団、スポーツ協会を中心とし、感染予防に努めた活動が行われている。各公民館や各学校及びPTA活動などへのスポーツ推進委員によるニュースポーツ指導への依頼は新型コロナウイルス感染症の影響ため減少した。公民館活動においても感染予防に努め運動教室（ヨガ・健康づくり体操他）を継続して行っている。

☐ 高い水準
☑ ほぼ同水準
☐ 低い水準

2. 施策の成果実績に対する　2　年度の取組や目標達成度

■2　年度の主な取組の成果（改革改善した取組、目標の達成度は？）

新型コロナ感染症の影響により、スポーツ少年団、スポーツ協会の各部で行う大会も自粛し、感染予防に努めた活動のみとなった。かがみの健康マラソンも中止となった。ニュースポーツを中心とする生涯スポーツ普及活動も新型コロナウィルス感染症の影響のため減少したが、感染予防に努めスポーツ推進委員会、各地区公民館との連携による活動は小規模ではあるが取り組めた。住民から公園整備の要望が多く、多目的に利用できる公園整備や文化スポーツセンターのトレーニングルーム増設を含む改修工事にかかる実施設計が完了した。

☐ 目標値以上
☑ 目標値どおり
☐ 目標値以下

3. 施策の今後の課題と改革改善の方向（うまくいかなかった取組や事務事業は？その原因は？）

多目的に利用できる広場や複合総合遊具の設置、健康遊具なども備えた幅広い年齢層に親しまれる公園整備を目標とした事業を、令和3年度から令和5年度にかけて予定している。また令和3年度に文化スポーツセンターのトレーニングルーム増築を含む改修工事を行う。新型コロナウィルス感染症の影響を考慮しつつ、町民の生涯を通じ気軽に運動やスポーツに取り組める環境づくりのため、関係各課との連携・協働した事業の構築を検討していくことが必要である。新型コロナウィルス感染症の収束が見込めない中でも、より自己の健康への関心が高くなっている傾向にあるので感染症予防に努め、コロナ後を見据えた中央公民館や地区公民館の主催講座などを工夫していく必要がある。また、新型コロナウイルス感染症により従来のやり方での事業継続は困難なためスポーツ活動事業の見直しを図って行くことも必要である。